

# 大分明野

ガッツポーズの大分明野ナイン



## 【中】中九州支部予選

(決勝10日・珍珠町花林かいぞくスタジアム)

▼決勝

別府	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分明野	0	1	0	0	0	0	0	0	1

【別】 藤井 賢来【明】 岩崎 向

### 岩崎2安打完封

大分明野ボーイズが1点差を守り抜き、4季連続で全国に名乗りを上げた。決勝は岩崎竜也が2安打完封。「体が浮かないように、左手を捕手の方へ真っすぐ出すことにした」と4日前にフォームを改良したのが正解で制球力がアップ。走者を出しても「切れるある球を投げようと思っただと相手打者を詰まらせ、または打ち上げさせて打ち取っていた。

### 向のリード光る

女房役の好リードも光った。正捕手の向晃英は5月半ばに腰の違和感を感じたため、万全を期して2回戦と準決勝はマスクをかぶらず。十分な休養

で状態を整えた。決勝は要所所でマウンドに駆け寄り、「(岩崎)竜也は投げ急ぐところがあるので声を掛けて冷静さを保ってもらった」と右腕を励まし続けた。

決勝点はその向のスクイズで奪った。2回、1死三塁で「バントはする機会が少ないけど、竜也の力投に依えたかった」と三塁前に

転がし、三塁走者の岩崎がホームを踏んだ。

3回戦から3試合続けて1点差で勝利。小間充監督は「一時はおかしな時期もあったけど、春に(全国切符を)取ったのが自信になっている」。精神的な成長が接戦の強さにつながっている。そして、「岩崎に1番を与えたのは間違っていないかった。向も決勝に備えてくれた」とバッテリーに最大級の賛辞を贈った。



優勝を決めて向晃英と抱擁する岩崎竜也(左から2人目)